

これからのローカルは「民間行政」の時代

「公的な領域に関わるものは行政のしごと」

かつて、当たり前にならされていた時代もありました。時はめぐって現在、多くの気骨ある人々がまちづくりの担い手として各地で活躍しています。まちの未来を思い、創造していく主体は行政だけでも、民間だけでもない。

双方で理想を共有しながら、それぞれの得意を持ち寄って、共に未来へと進む。

おもしろき地域には、まちを盛り上げるキーマンが必ずいます。それは、地元の名士や、とある民間企業だったり、行政だったりもします。

人口減少、集落の維持、地域経済の停滞、加速するDX化。多くの自治体が、増え続ける課題に対してオープンイノベーションの必要性を感じ、いかに外部の人材と連携していくのか。課題解決のために、民間企業と地域を結ぶプラットフォームが新たに提供するサービスを生み出し持続可能な社会を創り出す。

柴田町社会福祉協議会次長（協議体委員） 加茂三弥

～ サークル紹介 ～

いつも元気に愉しく「みどりの会」



毎月、仲間たちが集まって、畑を耕し、野菜づくりをしたり、趣味が高じて、「門松づくり」や「凧づくり」「竹灯籠づくり」等どんどんレベルアップしています。

いつまでも、少年のような気持ちを持ちながら、仲間とワイワイと愉しんでいます。



～ 地域支え合い活動 ～

3区 防災、除雪・見守り隊

平成30年度4月から活動を開始しました。

除雪隊は、現在8名体制で、2月・3月の降雪時に積雪15センチ以上の場合、区内消火栓周りと一人暮らし世帯周りの除雪出動します。冬期以外は、自主防災部とタイアップし、見守り隊活動を実施しています。（3区 渡邊福男 区長）



かっこいいオヤジたち！（8回目）

推薦者：槻木地域包括支援センター 石上誠管理者（協議体委員）

第二常盤園は平成23年4月にオープンいたしました。施設内の柱には地元の木材を使用しており、ぬくもりある雰囲気です。職員一同「響存」をモットーに、ご利用者一人一人の尊厳を守り、やさしさ、親切、思いやりの心で丁寧なサービスを提供しています。

また、季節感を感じられるように、花見、敬老会、クリスマス会など感染症対策を行いご利用者様が施設内での生活が楽しく過ごせるように、日々チームの「和」を大切に、多職種間で連携をとって「笑顔」があふれる職場になるように日々努めています。

